

低騒音タイプ モーター

取扱説明書

日本サーボ株式会社

このたびは当社の低騒音タイプモーターをお買上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用下さい。

尚、ご不審の点、お気付の点がございましたら当社営業推進部にご連絡下さい。

■ ご使用前に

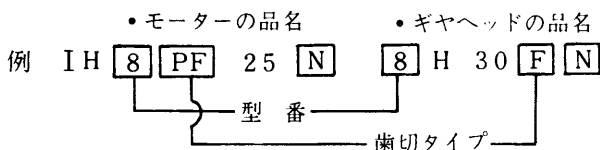
- 1) お求めになられたモーターのネームプレート、形名、電圧等まちがいないかよく確認して下さい。
- 2) コンデンサは必ず付属のコンデンサをご使用下さい。また、コンデンサの端子、モーターリード線の結線は半田付け、または圧着端子等で確実に接続して下さい。
- 3) コンデンサの端子間には、電源電圧の約2倍の電圧がかかりますので、ご注意下さい。
- 4) 分解・改造等はしないで下さい。思わぬ事故の原因となります。

■ 使用上の注意

- 1) 使用温度範囲は-10~40℃、湿度85%以下の場所でお使い下さい。
- 2) 次にあげる場所は避けて下さい。
 - 直射日光のあたる所
 - 水や油がかかる所
 - 振動、衝撃の激しい所
 - ほこりの多い所
 - 引火性ガス・腐食性ガスが発生する所
- 3) 実装・実負荷状態でモーターケースの外被温度が90℃を超えない様注意して下さい。

■ 直結できるギヤヘッド

モーターとギヤヘッドの品名を確認して下さい。直結できるモーターとギヤヘッドは下記を参考にして下さい。



ご注意

- ① Nはヘリカル仕様です。モーター及びギヤヘッドの末尾にN表示のあるものだけが直結できます。
- ② 直結できるモーター及びギヤヘッドの歯切タイプ。

モーター	ギヤヘッド
P	表示なし
PF	F又はFB
PK	KB
PE	EB
- ③ 型番と歯切タイプの両方が同じでないと直結できません。

■ レバーシブルの短時間定格について

レバーシブルモーターは、瞬時運転などのご使用として必要な特性をもつよう設計されていますので、インダクションモーターに比べるとモーター

の温度が上昇するため、連続で使用すると30分程度で使用限界温度に達します。(30分定格)ただし間欠負荷運転などでモーター温度が使用限界温度(モーター外被で約90℃)までに余裕がある場合は、30分定格にとらわれないで使用可能です。

■ 結線方法 (下記の様に結線して下さい)

回転方向は、出力軸側から見た場合を示します。結線後スイッチを入れたとき、下記の様な場合は、もう一度お調べ下さい。

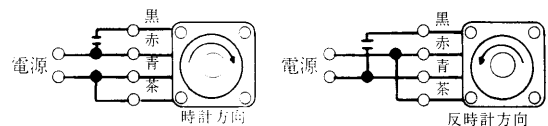
- 1) 回転しない
- 2) トルクが異常に小さい
- 3) 逆転している

なお、原因不明の場合は当社にご連絡下さい。

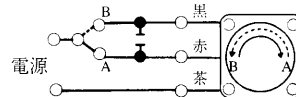
ご注意

ギヤヘッド出力軸回転方向は、減速比によりモーター軸と回転方向が逆になることがありますので、減速比を確認の上、結線して下さい。インダクションモーターの回転方向の切り替えはモーターが完全に停止してから行なって下さい。

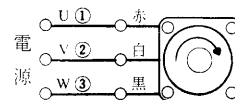
● インダクションモーター、シンクロナスモーター



● レバーシブルモーター、トルクモーター



● 三相インダクションモーター



左図のように結線すると、時計方向に回転し、どれか2線を入れかえると反時計方向に回転します。端子BOX付モーターは、左図のように端子番号①、②、③をつないで下さい。①はアースです。

● UL認定品モーター(サーマルプロテクター付、5本リード)



注) 改良のため、お断りなく仕様を変更することがありますので、ご了承下さい。

★技術的なお問い合わせは当社営業推進部へ

TEL.....東京 (03) 3292-7301, 3243

FAX.....東京 (03) 3292-8705

日本サーボ株式会社

本社	☎ (03) 3292-3501(代表)	FAX (03) 3292-8705
大阪営業所	☎ (06) 6531-9684(代表)	(06) 6531-9687
名古屋営業所	☎ (052) 683-1117	(052) 683-1120
茨城営業所	☎ (029) 275-8891	(029) 275-8893
厚木営業所	☎ (046) 233-6862	(046) 233-6880
北関東営業所	☎ (028) 637-1154	(028) 637-1174